

挟まれ・巻き込まれ 死亡事故

作業前は、『事前打合せ』

不安全作業・手抜き作業は、絶対に行わない

点検・整備時は、エンジン・電源を切ってから行いましょう

慣れてきた時ほど、慎重に！

慣れてきた時ほど、流れ作業におちいりやすくなります

室蘭の工場 設備のメンテナンス作業中 作業員の男性、機械に胸を挟まれ死亡

2025/09/26

25日午後2時すぎ、室蘭市の工場から「男性が機械に挟まれた」と消防に通報がありました。会社によりますと、事故にあったのは協力会社に所属する60歳代の男性で「クラッド鋼板」とよばれる金属を延ばして板状にする工場で機械に胸のあたりを挟まれ、意識不明の状態では病院に搬送されましたが、その後も意識は戻らず、26日午前、死亡が確認されました。事故があった際、工場は操業を一時停止しており、男性は設備のメンテナンスの作業を行っていました。警察では現場の状況を詳しく把握するとともに事故の原因を調べています。

機械に両足を巻き込まれ、男性が死亡 コンクリート分離機を清掃中に

2025/9/26(金) 19:35

26日午前9時半ごろ、富山県の工場で、この会社の作業員の男性（66）がコンクリート分離する設備を清掃していたところ、機械に両足を巻き込まれました。作業は当時2人で行って、男性の同僚が消防に通報しましたが、およそ2時間後に搬送先の病院で死亡しました。死因は出血性ショックとみられています。警察が作業員に当時の状況を聞くなどして事故の原因を調べています。